

宮崎県立美術館は、現在約4,200点の作品を収蔵しています。これらは、次の3つの収集方針に基づいて収集されています。

1. 郷土出身作家及び本県にゆかりのある作品、2. わが国の美術の流れを展望するにふさわしい作品、3. 海外のすぐれた作品
- ここでは、当館のコレクションを代表する国内外の名品を展示しています。今回は、広大な大地の上に巨大な岩が浮かぶ風景を描いたルネ・マグリットの「現実の感覚」、人々が集まり、歌い踊る様子を描いた北川民次の「ファンダンゴⅡ」などを紹介しています。

また、音楽に関係する作品や音楽を感じさせる作品を特集展示します。美術史に名を残す作家たちの名品の数々をご堪能ください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	ポール・デルヴォー	1897~1994	パレ・ロワイヤル	1978-79	37.2×29.6	エッチング, 水彩
2	ピエール・ボナール	1867~1947	後ろ姿の若い娘	1944	64.9×52.0	リトグラフ
3	ポール・シニャック	1863~1935	ヴェニス, サルーテ教会	1908	72.5×90.9	油彩
4	パウル・クレー	1879~1940	歩く女	1940	74.3×14.1	油彩
5	パブロ・ピカソ	1881~1973	肘かけ椅子のベルベット帽の女と鳩	1915-16	81.7×66.0	油彩
6	ルネ・マグリット	1898~1967	現実の感覚	1963	172.5×116.0	油彩
7	北川 民次	1894~1989	ファンダンゴⅡ	1958 (昭和33)	130.4×194.1	油彩
8	村井 正誠	1905~1999	軌道 No.1	1961 (昭和36)	162.0×130.5	油彩
9	磯辺 行久	1935~	WORK '62~33'	1962 (昭和37)	182.0×127.2	ミクスト・メディア
10	パブロ・ピカソ	1881~1973	ギターを弾く男	1915	14.7×10.9	エングレーヴィング
11	マン・レイ	1890~1976	オーケストラ	1972	53.0×34.3	シルクスクリーン
12	ドロテア・タニング	1912~2012	日曜の午後	1953	99.4×64.2	油彩
13	鴨居 玲	1928~1985	踊り候え	1984 (昭和59)	181.6×227.3	油彩
14	泉 茂	1922~1995	ベーシスト	1958 (昭和33)	37.2×26.6	リトグラフ
15	内間 俊子	1918~2000	Nocturne (ノクターン)	1967 (昭和42)	58.1×39.2	木版
16	山中 嘉一	1928~2013	ポロネーズ <1>	1968 (昭和43)	48.4×35.4	シルクスクリーン
17	絹谷 幸二	1943~	トレモロ	1990 (平成2)	40.8×33.5	リトグラフ

明治期以降、日本の美術は急激な西洋化の波にさらされます。日本の洋画家たちは、西洋画の写実表現や遠近法などを取り入れ、独自の表現を求めて模索を続けました。このような状況下で、国が主催する文展が創設されます。本県の洋画家では、西都市出身の塩月桃甫が、大正5（1916）年に文展入選を果たしました。また、都城市を代表する山田新一は、大正14（1925）年に文展を前身とする帝展に初入選し、中央画壇で活躍しました。一方、伝統的な日本画の世界においても、西洋画の要素や特徴を取り入れた新しい「日本画」への取り組みが進みました。本県を代表する日本画家として、文展で受賞を重ねるなど日本画界をリードした都城市出身の山内多門、同じく都城出身で、大正4（1915）年の文展において初入選で褒状を受けた益田玉城が挙げられます。

ここでは、これら宮崎県を代表する画家たちの作品を中心に紹介するとともに、没後70年を迎えた塩月桃甫にスポットを当てた特集展示も行います。本県出身やゆかりの作家による多彩な作品をお楽しみください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	塩月 桃甫	1886~1954	自画像	1946-54（昭和21-29）	44.4×31.7	素描
2	塩月 桃甫	1886~1954	題不明	1921（大正10）	45.7×61.0	油彩
3	塩月 桃甫	1886~1954	タロコの男	1921（大正10）頃	35.5×20.5	素描
4	塩月 桃甫	1886~1954	ロボを吹く少女	1924（大正13）	60.6×45.0	油彩
5	塩月 桃甫	1886~1954	作品4（建功神社）	1942（昭和17）頃	29.6×37.8	水彩
6	塩月 桃甫	1886~1954	作品5（台湾の娘）	1942（昭和17）頃	51.0×34.2	水彩
7	塩月 桃甫	1886~1954	パイワンの女	1953（昭和28）	45.8×37.9	油彩
8	塩月 桃甫	1886~1954	花、アネモネ	1946（昭和21）	33.1×23.7	油彩
9	塩月 桃甫	1886~1954	舞子	1949（昭和24）	33.3×24.0	油彩
10	塩月 桃甫	1886~1954	魚(3)	1953（昭和28）	21.7×27.4	油彩
11	塩月 桃甫	1886~1954	黒猫と少女	1950（昭和25）頃	73.0×60.6	油彩
12	塩月 桃甫	1886~1954	裸婦	1953（昭和28）	72.8×60.4	油彩
13	山田 新一	1899~1991	シュザンヌ	1928（昭和3）	53.0×45.5	油彩
14	鱸 利彦	1894~1993	伊太利婦人像	1931（昭和6）	53.2×45.6	油彩
15	松本 周一	1928~1994	山里 2	1989（平成元）	130.2×162.0	油彩
16	道北 昭介	1930~1993	埋没の詩	1982（昭和57）	116.7×91.0	油彩
17	太佐 豊春	1921~2005	処刑の森	1968（昭和43）	109.2×79.0	水墨, インク
18	益田 玉城	1881~1955	千石三景	1939（昭和14）	右:131.5×23.0 中:131.8×23.0 左:131.8×23.0	日本画
19	山内 多門	1878~1932	山水図	1902（明治35）	123.4×50.6	日本画
20	江夏 英璋	1876~1946	題不明	不明	各175.2×379.2	日本画
21	山本 泰業	1888頃~1947	菊	不明	126.7×39.6	日本画

風景画を描くとき、画家は風景のどの部分を切り取るか、近景と遠景の表し方や構図など、様々なことを考えながら描きます。例えば、画家がどんな位置からその景色をとらえるかによって、画面上の地平線や水平線の位置は変わります。

久野和洋の作品は、地平線が画面の低い位置にあります。小野彦三郎や野田典男の作品は、水平線が高い位置にあり、対象を見下ろすように描かれています。小野の作品は平面的な表現などから日本画風と言われますが、高い視点からのとらえ方は、浮世絵などの画面構成を思わせます。一方、塩水流功、松本英一郎の作品は、同じような低い位置に地平線、水平線があり、遠くからとらえられた風景ですが、松本の作品には白とピンクの層をなす雲形などが描かれており、心の目で見た風景になっています。

画家の目線を意識しながら、それぞれの作品世界を味わってください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	塩水流 功	1924～1996	「あがった、あがった！」	1984（昭和59）	162.0×227.5	油彩
2	松本 英一郎	1932～2001	さくら・うし 92-3	1992（平成4）	130.3×162.0	油彩
3	久野 和洋	1938～2022	地の風景・二本の樹	2003-04（平成15-16）	162.0×130.3	油彩
4	野田 典男	1928～2023	運河のある街	1993（平成5）頃	72.7×91.0	油彩
5	小野 彦三郎	1912～1971	岬	1961（昭和36）	162.3×97.3	油彩

瑛九（本名：杉田秀夫）は、明治44（1911）年に、宮崎市内で眼科医をしていた杉田直の6番目の子供として生まれました。兄は父と同じ眼科医になりましたが、瑛九は親の反対をものともせず、画家を目指して突き進んでいきました。瑛九は学校で美術を習うことになじみませんでした。しかし、自ら専門書などで古典や近現代の美術を研究したり、実際に様々な作品を見たりすることによって、芸術を見る目を育てていきました。また、友人への書簡や、雑誌・新聞等に寄稿した文章では、自分の作品も含め、批判的に見ることを訴えていました。

瑛九の作品の中には、「目（眼）」が題名になっていたり、モチーフとして描かれたりしているものがあります。瑛九にとって、眼は最も身近で、気になるものだったのでしょうか。ここでは、瑛九が「目（眼）」を描いた油彩や版画とともに、同時期に描いた様々な作品や資料を展示します。芸術に対する瑛九のまなざしを感じてください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	瑛九	1911~1960	母	1953（昭和28）	29.1×23.8	エッチング
2	玉井 瑞夫	1923~2014	「メガネと瑛九と」	1952（昭和27）	32.2×25.0	写真
3	瑛九	1911~1960	街角	1953（昭和28）	17.9×23.8	エッチング
4	瑛九	1911~1960	庭園	1953（昭和28）	23.4×18.0	エッチング
5	瑛九	1911~1960	林の目	1955（昭和30）	24.6×18.0	エッチング
6	瑛九	1911~1960	顔	1957（昭和32）	38.9×26.6	リトグラフ
7	瑛九	1911~1960	森の太陽	1956（昭和31）	38.6×26.0	リトグラフ
8	瑛九	1911~1960	レンズ	1956（昭和31）	35.0×22.0	リトグラフ
9	瑛九	1911~1960	だだっこ	1954（昭和29）	90.7×64.8	油彩
10	瑛九	1911~1960	時計の顔	1954（昭和29）	33.0×23.9	油彩
11	瑛九	1911~1960	鳥	1956（昭和31）	52.9×45.4	油彩
12	瑛九	1911~1960	眼が廻る	1955（昭和30）	53.5×65.1	油彩
13	瑛九	1911~1960	眼	1953-54（昭和28-29）	100.2×80.5	油彩
14	瑛九	1911~1960	芽	1954（昭和29）	145.2×97.9	油彩
15	瑛九	1911~1960	愛の歌	1957（昭和32）	79.8×65.4	エアブラシ
16	瑛九	1911~1960	空の目	1957（昭和32）	72.7×60.9	油彩
17	瑛九	1911~1960	眼	1954（昭和29）	72.8×53.0	油彩

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
18	瑛九	1911～1960	子供とテーブル	1948 (昭和23)	33.2×24.2	油彩
19	瑛九	1911～1960	嵐	1958 (昭和33)	90.9×116.7	油彩
20	瑛九	1911～1960	つばさ	1959 (昭和34)	259.0×181.8	油彩
21	瑛九	1911～1960	眼	1952 (昭和27)	21.0×15.2	エッチング
22	瑛九	1911～1960	サーカス	1956 (昭和31)	23.5×18.1	エッチング
23	瑛九	1911～1960	白サギ	1956 (昭和31)	23.7×18.2	エッチング
24	瑛九	1911～1960	愛の家	1951 (昭和26)	20.7×15.1	エッチング
25	瑛九	1911～1960	目	1957 (昭和32)	18.0×11.7	エッチング
26	瑛九	1911～1960	ヴァイオリン	1952 (昭和27)	18.0×12.0	エッチング
27	瑛九	1911～1960	眼	1936 (昭和11)	27.6×23.0	フォト・コラージュ
28	瑛九	1911～1960	多摩園	不明	55.5×41.0	フォト・デッサン
29	瑛九	1911～1960	お化粧	1954 (昭和29)	35.5×28.0	フォト・デッサン
30	瑛九	1911～1960	Visitors to a Ballet Performance	1950 (昭和25)	45.7×55.8	フォト・デッサン

ここでは、名前の頭文字から3Mと呼ばれた、20世紀イタリアを代表する3人の彫刻家を紹介します。

アルトゥーロ・マルティエーニ（1889-1947）は、イタリア彫刻の長い歴史と伝統に向き合い、様々なスタイルや素材で制作しました。彫刻を絵画的に表現することを探求し、現代イタリア彫刻の方向を変えたとも言われています。

マリノ・マリーニ（1901-1980）は、はじめ絵画や版画を手がけていましたが、古代イタリアのエトルリア美術やマルティエーニの作品に影響を受け、彫刻を中心に活動するようになりました。馬と騎手の彫刻や肖像彫刻を数多く手がけ、国際的な名声を得ました。

ジャーコモ・マンズー（1908-1991）は古代ローマ彫刻に強い影響を受け、古典的な格調を持ちながら情感豊かな作品で世界的な人気を博しました。代表的な主題の一つが「枢機卿」です。

伝統にとらわれることなく、絶えず新しい形象を追求し続け、後続の作家たちに大きな影響を与えた3人の巨匠の表現をお楽しみください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1	アルトゥーロ・マルティエーニ	1889~1947	アマゾンの死	1935	47.6×35.0×15.7	ブロンズ
2	マリノ・マリーニ	1901~1980	コンポジション	1955	57.0×48.0×30.6	ブロンズ
3	ジャーコモ・マンズー	1908~1991	枢機卿座像	1981-82	109.5×66.9×56.6	黒檀

パブリックゾーン

令和6年4月13日~令和7年4月8日

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1	奥村 良弘	1936~	岬	1960 (昭和35)	25.1×21.0×16.5	ブロンズ
2	ヴェナンツォ・クロチェッティ	1913~2003	水浴の女性	1978	165.6×107.8×70.2	ブロンズ